

『本物人間になり、「今」という「今」を一生懸命に生きる。』

ここでいう「本物人間とは」□人間は自然の一員だから、「自然の理」に従って生きなければいけません。皆様もご存じのように自然は調和しています。そうです「自然の理」とは、人間と人間とが、お互いに「信じ合い・助け合い・慈愛で生きる」事を指します。

これを具体的にいうと、

- ① 何事も感謝する。(肯定し、明るく前向きに、プラス発想で生きる)
 - ② 自分の長所を活かし、世のため、人の中のために生きる。(自行化他)
 - ③ 格差を主張しイジメたり、差別したりしない。(比較しない)
- 以上3つの核となる精神は次の通りです。

『神仏を信仰し、ご先祖様や、目上の人を敬う。』

これら挙げましたが、まさに人間が正しく生きるための鉄則である様に思います。一度しかない大切な自分の人生、自分が幸せに満たされたなら、その幸せを他人にも与えたいとなるのが人情というものです。そしてお互いがお互いを思いやり助け合うという、人間ならごく当たり前の事の様であり、それゆえ難しいところでもあるのですが、先述した3つを実践することなくして、平和な人間関係の輪を築くことが出来ないものと思います。私達は自然の一部であります。それゆえ「自然の理」に従った生き方が、幸せへの王道となるのではないのでしょうか？

『法華経』には「自行化他(じぎょうけた)」と言って、人の為に行動する事の重要性が示唆されています。まずは自分自身が実践しましょう。実践した経験の中でしか、人生の醍醐味を学び取る事は出来ません。私達それぞれが、協力し合って、自分のペースで精進していきましょう。真成寺が文化の発信地になるように、私自身、益々努力精進していきますので、今後とも『人生ハンド仏句』への、ご指導ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。